

PC-ユース ～北から南から～

令和7年度意見交換会の報告 国土交通省道路局、地方整備局等と の意見交換



▲意見交換会の様子

次の5テーマを提案し、意見交換を行いましたので報告します。

1. 年度工事量の安定的な確保

PC建協では、6月13日に国土交通省道路局、7月から10月にかけて、各地方整備局、北海道開発局及び沖縄総合事務局との意見交換会を行いました。

各局は、工事量の安定が経営や雇用に重要と認識しつつも、予算や事業進捗の影響で年度ごとの変動は避けられないとしています。ただし、補正予算や早期発注などを活用し、できる限り予算の安定確保に努める方針との回答がありました。

またPC技術の継承と若者がものづくりに魅了されるような、新規プロジェクトの創生を望む、国土強靭化計画や「WISENET2050・政策集」に基づき、大規模な道路事業が推進されており、これらの実現には新たな技術開発と若手技術者の活躍が不可欠との回答がありました。

2. 働き方改革の推進

「土日、祝日を含めた完全週休二日の推進」、「総労働時間の削減」、「技能労働者の待遇改善」を提案しました。

各局からは、祝日を含めた完全週休二日制については、その必要性を

認識しており、建設業界の実態等を踏まえて検討を進める意向を示されました。また、総労働時間削減に向けて工事書類の簡素化の活動を強化していくとの回答がありました。労働者の待遇改善については、各局とも建設キャリアアップシステム（CCUS）の普及と賃金制度の整備に取り組む方針を示されました。

3. 生産性向上の推進

多くの局がプレキャスト部材の採用を、生産性向上、省人化・省力化、安全性向上、工期短縮に有効と認識しており、今後も積極的に検討・推進する方針を示しました。

4. PC橋の長期保全の推進

各局はEarly Contractor Involvement(ECI)方式を、仕様確定が難しい高度技術を要する工事に有効と評価しています。既に複数の実績があり、施工円滑化・工程短縮・品質確保の効果が確認されており、今後も適用可能な工事で活用を推進していくとの回答がありました。

2. 働き方改革の推進

週休2日は発注者指定方式で発注しており、今後は完全週休2日に向けてさらに取組みを推進していくとの回答でした。また、総労働時間の削減に関し、スリム化ガイドラインの浸透に向け、アンケートやヒアリン

造物のメリットは十分に理解しておらず、応答率は低いものの、実際の施工現場においても、品質・耐久性の高さ、大空間の確保などPC構

高速道路株式会社との 意見交換会

PC建協では、8月に西日本高速道路㈱、10月に中日本高速道路㈱、11月に東日本高速道路㈱との意見交換会を行いましたので報告いたします。

次に4テーマを提案し、意見交換を行いました。

1. 年度工事量の安定的・持続的な 確保

特定更新事業や4車線化事業について、今後の事業概要及び中期的発注見通しの公表などの取り組みを実施しております、発注時期の平準化についても余裕工期の設定等により取り組みを推進しているとの回答がありました。

5. 機能性向上と構造デザイン性を 有するプレキャストPC建築の 推進

建築現場においても、品質・耐久性の高さ、大空間の確保などPC構

グを行い、周知徹底を図っているとの回答がありました。

3. 生産性向上の推進

生産性向上のため、プレキャスト構造の有効性を踏まえ今後も、総合的な判断の上、採用を検討していく回答がありました。また、ICTについても、積極的な提案を歓迎するとの回答でした。

4. 大規模更新事業における

公告資料のさらなる明確化

工事円滑化ガイドラインに基づき、現地調査や関係機関協議を十分に行い、不確定要素を排除した公告資料の作成に努めるとの回答がありました。

令和7年度道路功労者表彰

道路整備事業や道路愛護・美化保全などに推進・尽力した団体・個人を対象とする「令和7年度道路功労者（主催：（公社）日本道路協会）」に、PC建協が推薦した3人が表彰されました。

極東興和（株） 茶木 悟氏
昭和コンクリート工業（株） 増田 甲一郎氏

日本高圧コンクリート（株） 五十嵐 久尚氏

令和7年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」、「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」

令和7年10月28日に東京都文京区の文京シビックホールで令和7年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）」「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジユニアマスター）」の顕彰式典が開催されました。

今回は建設マスターに452人、建設ジユニアマスターに119人が受賞されました。

PC建協からは建設マスターを4人、建設ジユニアマスターを2人推薦し、合計6人が受賞されました。顕彰者は次のとおりです。

【建設マスター】	
(有)仙波組	上松 雅弘 氏
(株)国土 （株）鈴木組	佐野 肇 氏
(株)岩永建設	中村 直之 氏
	山下 真司 氏

【建設ジユニアマスター】	
(株)上山	上山 貴也 氏
(株)和工	田中 佑典 氏

石川県知事より令和六年能登半島地震・令和六年奥能登豪雨災害に関する感謝状

PC建協とPC建協北陸支部は、令和六年能登半島地震及び令和六年奥能登豪雨災害に際し、被災地域の復興・復旧に向けての活動を行いました。これに対して石川県から感謝状が贈呈されました。

月10日に金沢市内の石川県地場産業振興センターで執り行われました。今後も災害対応力の強化とインフラ整備を通じて地域の安全・安心に貢献してまいります。

月10日に金沢市内の石川県地場産業振興センターで執り行われました。今後も災害対応力の強化とインフラ整備を通じて地域の安全・安心に貢献してまいります。



▲ 表彰状（右：PC建協本部、左：北陸支部）



▲ 北海道開発局小樽開発建設部の座学の様子

現場見学会開催

PC建協支部が主催する現場見学会が各地で開催されました。

（北海道支部）

令和7年10月14日に北海道新幹線、南一線橋りょう（PCU形けた）工事のうち第1高砂BL工事の工事現場で北海道開発局小樽開発建設部の職員14人を対象に現場見学会を実施しました。

本橋はポストテンション方式PCU形コンポ桁橋（橋長25m、30m、施工面幅11・8m、クレーン架設、オリエンタル白石・日本ピーエス北海道新幹線、南一線橋りょう（PCU形

けた)JV)です。

当方は初めて座学で本工事の事業概要、橋梁の構造形式、架設工法などとPC橋に関する基礎知識を説明。次に工事現場へ移動し、床版横組工と橋面工の施工を見学してもらい、PC橋に関する理解を深めていただきました。

(四国支部)

令和7年9月25日に徳島県小松島市の四国横断自動車道江田高架橋上部PA34-A A2工事の現場と関西ピート・エス・コンクリート(株)の本社工場で阿南工業高等専門学校創造技術工学科建設コース3年生8人と教職員3人の計11人を対象に現場見学会を実施しました。

本橋はPC8径間連結コンポ橋(橋長306m)のうちの4径間です。架設工法はクレーン架設とガーダー併用架設です(三井住友建設㈱)。

当日は現場概要、施工ステップ、PC構造を説明後、橋面上へ移動し施工状況の見学とPC構造の解説を行いました。また工場ではPC桁の製作状況とPC、RC、無筋の3種類の板を用いた比較の説明と載荷試験の状況を見てもらいました。

その他、令和7年8月以降に実施された現場見学会は次のとおりです。

開催日	支部名	見学会場	参加団体・参加校	人数
8月 6日	東北	国道286号南赤石1号橋梁	(一社)建設コンサルタント協会東北支部会員	30人
9月 22日	北海道	日本高圧コンクリート(株)栗山工場、恵庭栗山線馬追橋	札幌工科専門学校1、2年生、教職員	28人
10月 10日	北海道	金山ダム、十勝橋	室蘭工業大学教職員、建設業従事者	85人
10月 13日	北海道	日本高圧コンクリート(株)栗山工場、恵庭栗山線馬追橋	苫小牧市民、苫小牧工業高等専門学校教職員	30人
11月 5日	関西	西脇北バイパス下戸田高架橋	近畿地方整備局職員	22人
11月 20日	関西	オリエンタル白石(株)滋賀工場	(一社)建設コンサルタント協会近畿支部会員	28人
11月 21日	北海道	臼尻漁港橋梁	函館工業高等専門学校3年生、教職員	35人
11月 26日	関東	江川利保通り橋	前橋工科大学3、4年生、大学院生	47人
12月 3日	四国	四国横断自動車道江田高架橋、関西ピート・エス・コンクリート(株)PC工場	徳島大学理工学部3年生	9人

PC技術専門家を派遣

PC建協では学生にPC構造に興味を持つてもらうことを目的に各地区でPC技術専門家派遣事業を展開しています。

(関東支部)

令和7年11月4日に東京大学工学部社会基盤学専攻の3年生20人を対象に「プレストレストコンクリートの概要と施工事例について」と題して講義を行いました。

講義ではPC業界の概要、職務内容や資格、最近の話題について経験談を交えて説明しました。また都内のPC建築物の施工事例を紹介し、



▲ 東京大学での緊張実演の様子

最後に神鋼鋼線工業(株)によるPC鋼材の緊張実演を行いました。

(北陸支部)

令和7年10月9日に福井工業大学建築土木工学科の2年生23人を対象に「プレストレストコンクリート(PC)橋の概要と施工」と題した講義を実施しました。

講義ではPC橋の歴史や特徴、種類といった概要、PC橋の製作、架設工法、現場施工、県内外の構造物の実例を説明しました。学生たちの職業選択の参考になるよう最後に建設現場の様子を紹介しました。



▲ 福井工業大学での講義の様子

その他、令和7年10月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は次のとおりです。

開催日	支部名	学校名
10月10日	北陸	福井工業高等専門学校
10月16日、20日	中国	山口大学工学部
10月21日	九州	鹿児島大学工学部
10月21日、28日	関西	大阪産業大学工学部
10月28日	四国	香川高等専門学校
10月30日、11月4日	北海道	北海道大学工学部
11月6日、13日	関西	関西大学工学部
11月7日	北陸	金沢工業大学工学部
11月12日、19日	関東	東京理科大学創成理工学部
11月13日	関東	早稲田大学創造理工学部
11月13日	関西	和歌山工業高等専門学校
11月14日、21日	関東	茨城大学工学部
11月17日	北陸	新潟大学工学部
11月17日	九州	熊本大学工学部
11月17日、20日	九州	九州大学工学研究院
11月20日	北海道	室蘭工業大学理工学部
11月20日	関東	木更津工業高等専門学校
11月20日、27日	北海道	北海道科学大学工学部
11月26日	関東	前橋工科大学工学部
11月27日	北陸	富山県立大学工学部
12月5日	中国	広島工業大学工学部



▲セミナーでの講習会の様子

(東北支部)
令和7年10月8日に宮城県多賀城市の東北地方整備局東北技術事務所での「令和7年度道路構造物技術セミナー」(主催・東北地方整備局道路部)において、東北地方整備局の技術系職員など12人に對し「PC橋の橋梁形式・架設について」と題して解説しました。

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

各地でPC技術講習会開催

(九州支部)

令和7年9月5日に大分県大分市の大分中央公民館で「「実務に役立つ」プレストレストコンクリート建築設計・施工勉強会(主催・PC建協、共催・(一社)日本建築構造技術者協会九州支部」を開催しました。当日は会員15人にPC建築の設計、工事、施工管理の解説と、PC建築物の実例を紹介しました。



▲勉強会の様子

その他、令和7年8月以降に実施されたPC技術講習会は次のとおりです。

開催日	支部名	講習名	主催・共催	人数
8月5日	関西	京都府北部・橋りょう維持管理研修会(第133回)	京都府市町村道路メンテナンス推進協議会	12人
8月20日	中国	令和7年度第11回土木技術講習会	(公財)島根県建設技術センター	122人 (オンライン含)
8月28日	東北	令和7年度橋梁技術研修	(公財)岩手県土木技術振興協会	25人
8月28日	東北	令和7年度福島県土木部専門研修	福島県土木部	16人
9月3日	関東	千葉県若手職員研修(工場見学)	千葉県	14人
9月3日	関東	令和7年度橋梁技術講習会	山梨県県土整備部道路整備課	33人
9月4日	北陸	令和7年度土木部技術職員研修(道路)	富山県土木部道路課	30人
9月5日	関東	令和7年度土木専門研修(橋梁(PC橋))	(公財)長野県建設技術センター	34人
9月5日～30日	四国	第34回鋼橋及びPC橋に関する技術講習会	(一社)建設コンサルタント協会四国支部、(一社)日本橋梁建設協会、PC建協	9/5高知:65人 9/10愛媛:87人 9/18徳島:31人 9/30香川:40人

開催日	支部名	講習名	主催・共催	人数
9月 9日	中部	令和7年度技術講習会	(一社)建設コンサルタント協会中部支部	228人
9月 18日、 19日	九州	令和7年度橋梁研修(スキルアップ研修)	宮崎県建設技術センター	21人
9月 19日	東北	令和7年度土木部職員研修 「橋梁設計研修<LIVE併用型>」	宮城県	43人
9月 24日	北陸	第11回けんせつセミナー2025 「橋梁II(上部工の設計・施工編)」	(一財)新潟県建設技術センター	80人
10月 3日 11月 14日	中国	コンクリートの施工技術II(初級)	(公財)岡山県建設技術センター	10/3:54人 11/14:21人
10月 10日	関西	兵庫県技術講習会	(公財)兵庫県まちづくり技術センター	会場:29人 オンライン:30人
10月 10日	北陸	小坂橋上部工工事を通じた橋梁研修 「(第1回)橋梁工事の基本」	新潟県土木部道路建設課橋りょう・舗装係	9人
10月 10日	九州	設計技術者のためのリカレント教育講座 (オンライン講習)	(一社)建設コンサルタント協会九州支部	140人
10月 22日	東北	令和7年度橋梁技術研修(鋼橋・PC橋編) (オンライン講習)	山形県	130人
10月 23日	中部	橋梁点検・補修設計研修	静岡県建設技術監理センター	会場:18人 オンライン:8人
10月 24日	九州	道守養成講座特定道守コース (コンクリート構造分野)	長崎大学大学院工学研究科 インフラ総合研究センター	11人
10月 28日	中国	PC橋に関する研究会	島根県土木部道路建設課橋梁専門部門	22人
11月 12日	北海道	令和7年度技術講習会	PC建協北海道支部	26人
11月 12日、 20日	北陸	第11回わかりやすいPC橋の施工技術研究会	PC建協北陸支部	11/12金沢:14人 11/20新潟:16人
11月 13日	関東	埼玉県技術講習会	埼玉県県土整備部道路街路課	会場:21人 オンライン:19人
11月 13日	中国	令和7年度PC橋勉強会(オンライン講習)	中国地方整備局道路部	111人
11月 20日	関西	大阪府技術講習会	大阪府八尾土木事務所、 (公財)大阪府都市整備推進センター	24人

建設技術展示会に出演

(中国支部)

令和7年10月29日と30日の2日間、広島市南区の県立広島産業会館東展示館を主会場に「建設技術フォーラム2025 in ちゅうごく(主催..C建協などで構成)」が開催されました。

建設技術フォーラム実行委員会(P C建協などで構成)」が開催されました。P C建協ブースは「進化するP C技術の開発と社会への貢献」をテーマに社会インフラの整備拡充や人々の生活を豊かにする技術の開発に取り組んでいることを説明しました。



▲ PC建協ブースの様子



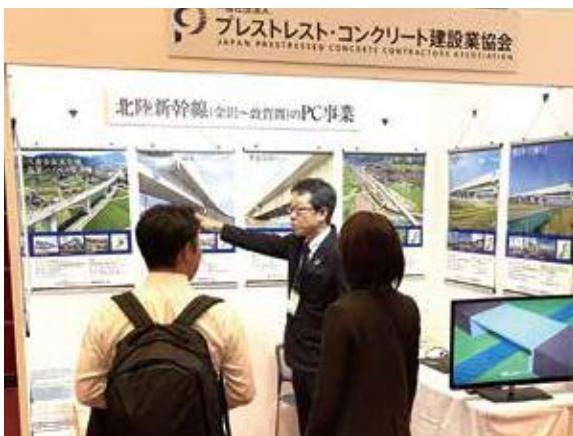
▲ PC建協ブースの様子

(四国支部)

令和7年11月21日と22日の2日間、愛媛県松山市のアイテムえひめ(愛媛国際貿易センター)で「建設フェア四国2025 in 松山(主催..C建協などで構成)」が開催されました。

PC建協ブースでは展示パネルによりP C構造の基礎、P C橋の最新技術や橋梁模型を使ったP C構造の説明を行いました。ブース前では、子供たちを中心に関心の方々にP C板(びょんぴょん板)に載つてもらい、P Cのしなやかさを体験し楽しんでもらいました。

第34回プレストレスコンクリートの発展に関するシンポジウム、出展



▲シンポジウムでのPC建協ブースの様子



▲東海環状自動車道見延第二高架橋

「第34回プレストレスコンクリートの発展に関するシンポジウム（主催：（公社）PC工学会、後援：（公）PC建協）が令和7年10月23日と24日に福井県福井市のフェニックス・プラザ（福井市民福祉会館）で開かれました。

PC建協ブースには多数が来場し、北陸新幹線の主要なPC事業などを紹介した他、学生等担い手の方々向けのパンフレット「まちと未来をみんなでつくる」を配布しました。

PC建協ブースには多数が来場し、北陸新幹線の主要なPC事業などを紹介した他、学生等担い手の方々向けのパンフレット「まちと未来をみんなでつくる」を配布しました。

岐阜県本巣市の糸貫ぬくもりの里で催された開通式典では地元関係者など約280人が出席し、テープカットやくす玉割りなどが催されました。また本巣ICでは通り初めを行って開通を祝いました。

令和7年8月30日に東海環状自動車道の本巣IC～大野神戸IC間（延長6・8km）が開通しました。この開通により飛騨・北陸方面へのアクセス向上が期待されます。

ク

岐阜県本巣市の糸貫ぬくもりの里で催された開通式典では地元関係者など約280人が出席し、テープカットやくす玉割りなどが催されました。また本巣ICでは通り初めを行って開通を祝いました。

湖西道路の真野IC～坂本北IC間（延長6・6km）の4車線化が完成しました。これにより、高速道路へのアクセス性が向上し、観光入込客数の増加による観光産業や地域の活性化が期待されます。

滋賀県大津市の大津市北部地域文化センターで催された開通式典では地元関係者などが出席し、テープカットなどで開通を祝いました。

その他

- ・石川県国道159号羽咋^は道路及び県道232号若部千里浜インター線
- ・兵庫県国道18号加古川小野線東播磨南北道路（八幡三木ランプ～小野ランプ）
- ・熊本西環状道路砂原四方寄線（池上工区 熊本駅IC～花園IC）暫定2車線及び池上インター線

全国から開通情報

（関西支部）

国道161号湖西道路（真野IC～坂本北IC）4車線化完成

東海環状自動車道（本巣IC～大野神戸IC）、開通

編集委員会

森田 康夫（編集委員長）、石井 一生（副委員長）、吉山 誠之（副委員長）、阿部 悟、黒木 信秀、鈴木 裕二、松井 敏二、堀 重伸、大塚 俊介、牧 哲史、太野垣 泰博

編集部会

荒畠 智志（部会長）、武藤 浩美（副部会長）、木村 良輔（副部会長）、瀬戸 裕一郎（副部会長）、園田 健児、河野 雅弘、喜多 俊介、三輪 祥大、浅野 真人、畠中 俊樹、福井 大樹、中田 清博、直井 秀市、小林 晃一、渡邊 絵美、吉野 正道

編集後記

まずは、2025年12月8日夜に発生した青森県東方沖地震により被災された皆さんに、心よりお見舞い申し上げます。被害を受けた地域および関係各位の皆さんに、深く哀悼の意を表するとともに、復旧・復興に向けた取り組みが着実に進むことを願っております。

今回のルポは、地震発生の約1か月前に青森県を訪れ、縄文遺跡群を辿りながら、様々なPC橋梁や構造物を取材しました。資料館で見た縄文土器の製造方法の展示では、強度を高めるために粘土に砂や繊維を混ぜていた事例が紹介されており、現代の技術との共通点に深い感銘を受けました。取材では、八戸市から八甲田山の山裾を抜け、青森市やつがる市を訪れましたが、青森にはまだ魅力的な名産品や場所、PC構造物も多く、すべてをご紹介できなかったのが心残りです。

特別企画では、国土交通省道路局より高速道路更新事業の概要や経緯をご寄稿いただき、各高速道路会社からは床版取替工事、脱塗工法を用いた桁補修、外ケーブル追加による桁補修、調査から補修補強設計など多岐にわたる様々な取り組み事例をご紹介いただきました。国土強靭化施策として進めている高速道路リニューアルプロジェクトにおける、PC技術の重要性を改めて感じました。

今後も更新事業を含め、最新のPC技術を引き続きご紹介してまいります。

(吉野)